

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 2 日(土)

CC：佐田 明美

試合時間：11：40～

U1：徳丸 鳴

U2：久原 裕未

鹿屋体育大学	○ 100	33	—1st—	22	● 69	福岡教育大学
		18	—2nd—	15		
		20	—3rd—	12		
		29	—4th—	20		

第 1 クオーター

開始早々、鹿体大#3 大串が力強いポストプレーから得点する。対する福教大は、#9 竹内が 3P シュートを決め、両者ともに点の取り合いとなる。終盤、鹿体大#10 藤永が 3P シュートを沈めると、残り 3 : 25、たまらず福教大はタイムアウトを請求する。その後、福教大は#9 竹内のアシストから#15 藤本がシュートを決める。しかし、鹿体大#17 安藤が 3P シュートを連続で決め、33-22 の鹿体大リードで第 1 クオーターを終える。

第 2 クオーター

序盤、福教大#10 山下がオフェンスリバウンドに食らいつき、#15 藤本へアシストしゴール下のシュートが決まり、流れを引き寄せる。しかし、鹿体大は#24 田村、#13 白石が 3P シュートを決め、さらに得点を重ね、流れを引き渡さない。終盤、鹿体大は交代で入った#34 志鷹が鋭いドライブから得点しチームに勢いをつける。追い付きたい福教大は果敢に攻めるも、なかなかシュートが入らず、点差が離れていき 51-37 の鹿体大リードで第 2 クオーターを終える。

第 3 クオーター

序盤、鹿体大は#24 田村の鋭いドライブを起点に、#3 大串のポストプレー、#17 安藤の 3P シュートなどで得点を重ねていく。対する福教大も、#9 竹内のアシストで#10 山下が 3P シュートを決める。さらに粘り強くシュートを打ち続けるがリングに嫌われ、得点に繋げることができない。その後も、点差はなかなか縮まらず、鹿体大リードのまま 71-49 で第 3 クオーターを終える。

第 4 クオーター

開始早々、福教大#15 藤本が厳しい体勢からジャンプシュートをねじ込む。さらに#10 山下が 3P シュートを沈め、勢いづく。対する鹿体大は積極的なオフェンスリバウンドでチャンスをつくり、#30 松村が 3P シュートを決めチームを盛り上げる。福教大も#12 吉田からのアシストで#10 山下がゴール下のシュートを決め会場を沸かせるが、すぐさま鹿体大#13 白石が 3P シュートを決める。たまらず、福教大は残り 1 : 43、タイムアウトを請求する。その後、福教大は積極的に 3P シュートを打つが、なかなか決める事が出来ない。メンバーを巧みに入れ替え、最後までスピードを落とさず走り続けた鹿体大が、100-69 で勝利を収めた。